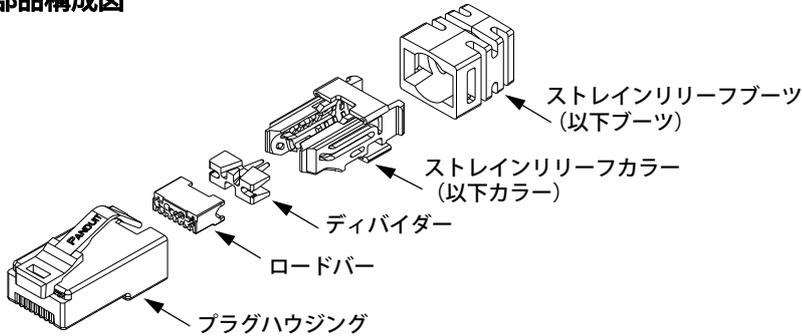


### T568B成端手順

#### 部品構成図



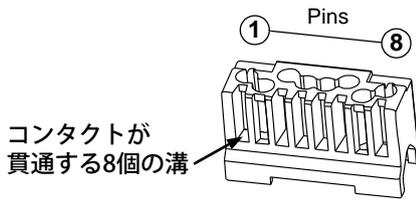
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568B	茶	茶/白	緑	青/白	青	緑/白	橙	橙/白

#### ■成端仕様

- 外被覆外径 最大 6.35φmm
- 心線絶縁径 最大 0.889φmm
- T568B 結線は茶色対の対角側が橙色対

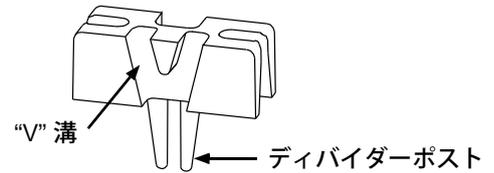
#### ロードバー

挿入時の向きに注意して下さい

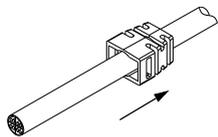


#### デバイダー

V溝とコンタクトの溝を確認してください



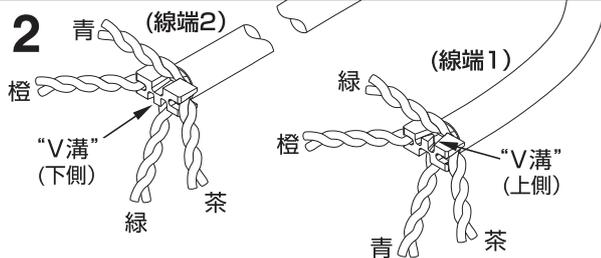
1



#### ◆ブーツを最初に挿入します。

- ◆ ケーブル端から50mmほど外被覆をむきます。
- ◆ 各対を十字方向のように開きます (放射状)。
- ◆ 中央に介在物 (十字介在) がある場合には導線を曲げた根本から4mmほどの所でカットします。

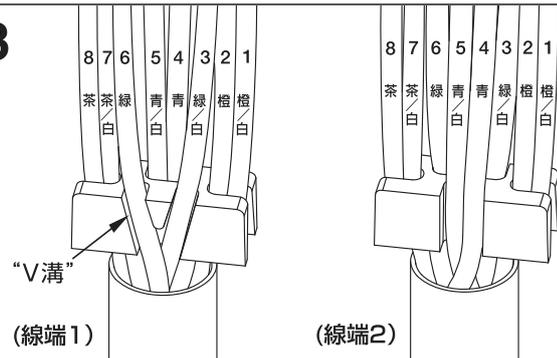
2



#### ◆ケーブルの両端では構造が異なります。

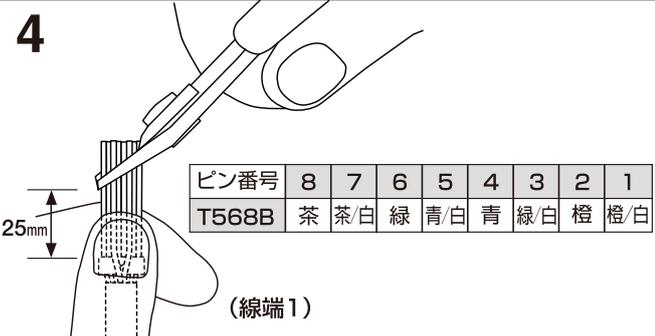
- ◆ 両端の橙色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と緑色対の位置が逆になります。
- ◆ デバイダーのV溝が緑色対に合うようにしてください。

3



- ◆ 各対をデバイダーの所までよりを戻します。
- ◆ 茶色対をデバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆ 橙色対は対角側の溝に橙色を先に後から橙白をハメ込みます。(7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む)
- ◆ 青色対をデバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせをします。
- ◆ 緑色対はもう片面のV溝となっている3番側が緑白で6番側が緑色となるように色合わせをします。(4番、5番と3番、6番の溝に合わせる)

### 4



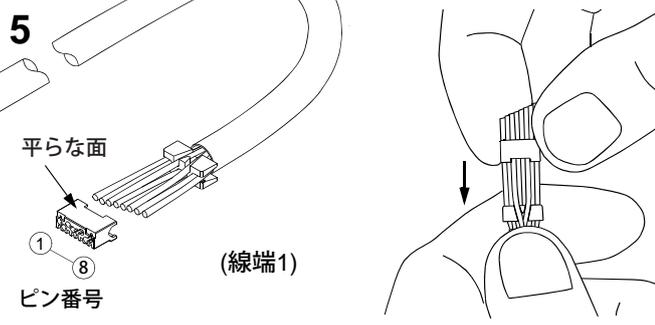
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568B	茶	茶白	緑	青白	青	緑白	橙	橙白

(線端1)

- ◆ ディバイダーを押さえながら各対のよりを戻して導線を真っ直ぐに伸ばします。
- ◆ 1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーから25mmほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)

☆挿入を補助するCSPT工具有ります。この工具を使用する時にはブーツは装着しないでください。

### 5



平らな面

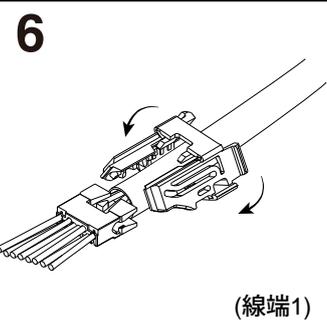
① ⑧

ピン番号

(線端1)

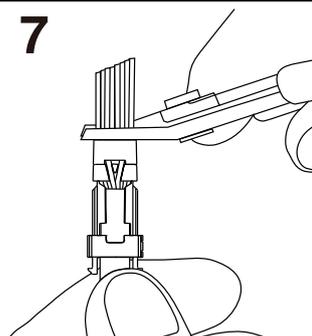
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっている事を確認してロードバーを挿入します。
- ◆ ディバイダーとのすき間ができないようにしっかり挿入します。

### 6



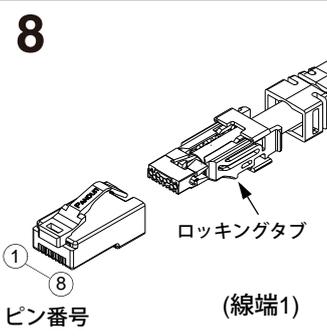
(線端1)

### 7



- ◆ ラッチがかみ合うまで、ストレインリリーフカラーをケーブルに沿って押し込んでいきます。
- ◆ 左側が茶色となるように、ディバイダーとロードバーを押さえながら、カラーの平らの面を表にしてディバイダーまで引き寄せます。
- ◆ ロードバーの先端で、余分な導線をカットします。

### 8



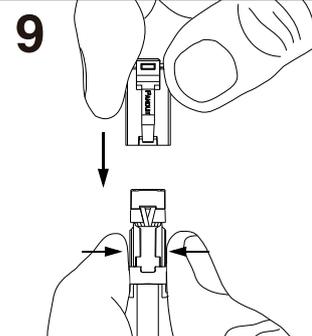
ロッキングタブ

① ⑧

ピン番号

(線端1)

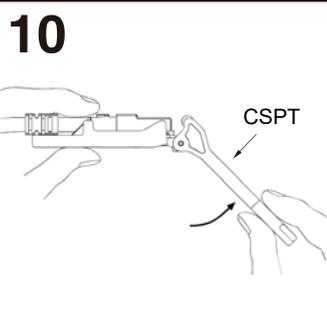
### 9



- ◆ 図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。

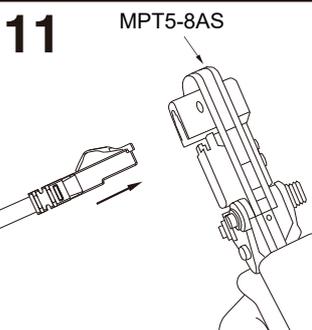
☆挿入を補助するCSPT工具有ります。この工具を使用する時にはブーツは装着しないで下さい。

### 10



CSPT

### 11

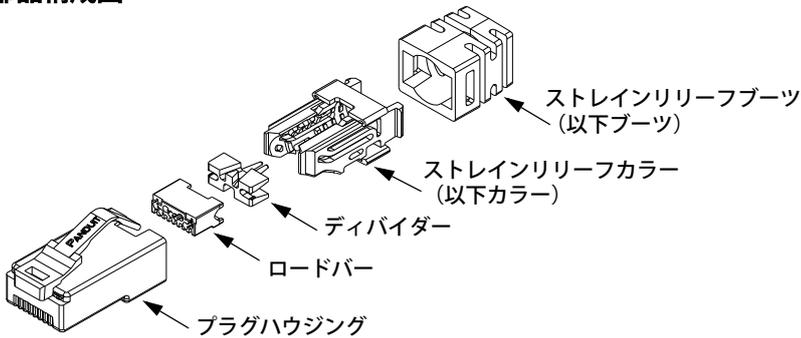


MPT5-8AS

- ◆ CSPTを使用して、ラッチするまでカラーを押し込みます。
- ◆ 圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。
- ◆ ブーツを装着して成端完了です。

# T568A成端手順

## 部品構成図



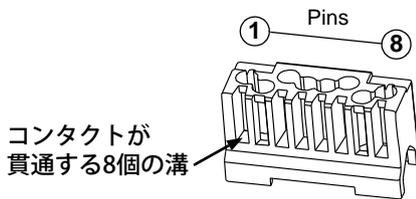
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568A	茶	茶/白	橙	青/白	青	橙/白	緑	緑/白

### ■成端仕様

- 外被覆外径 最大 6.35φmm
- 心線絶縁径 最大 0.889φmm
- T568A 結線は茶色対の対角側が緑色対

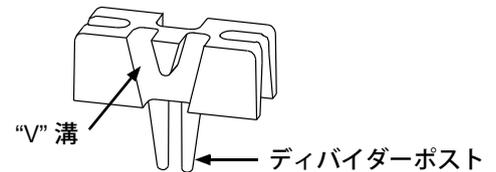
### ロードバー

挿入時の向きに注意して下さい

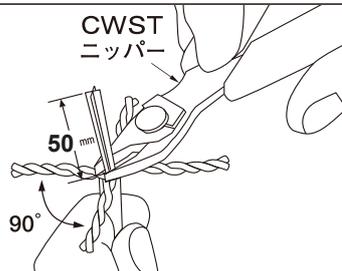
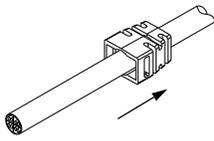


### デイバイダー

V溝とコンタクトの溝を確認してください



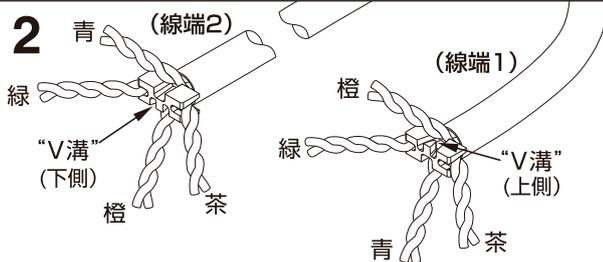
1



### ◆ブーツを最初に挿入します。

- ◆ケーブル端から50mmほど外被覆をむきます。
- ◆各対を十字方向のように開きます（放射状）。
- ◆中央に介在物（十字介在）がある場合には導線を曲げた根本から4mmほどの所でカットします。

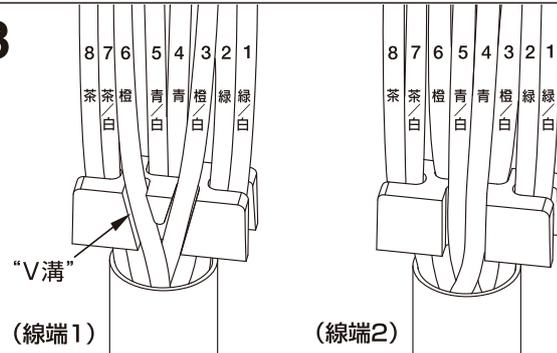
2



### ◆ケーブルの両端では構造が異なります。

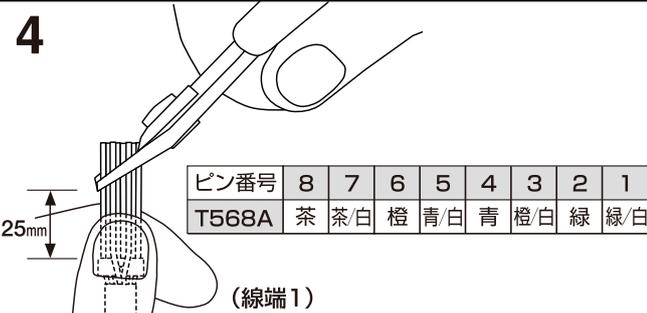
- ◆両端の緑色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と橙色対の位置が逆になります。
- ◆デイバイダーのV溝が橙色対に合うようにしてください。

3



- ◆各対をデイバイダーの所までよりを戻します。
- ◆茶色対をデイバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆緑色対は対角側の溝に緑色を先に後から緑白をハメ込みます。（7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む）
- ◆青色対をデイバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせをします。
- ◆橙色対はもう片面のV溝となっている3番側が橙白で6番側が橙色となるように色合わせをします。（4番、5番と3番、6番の溝に合わせる）

### 4

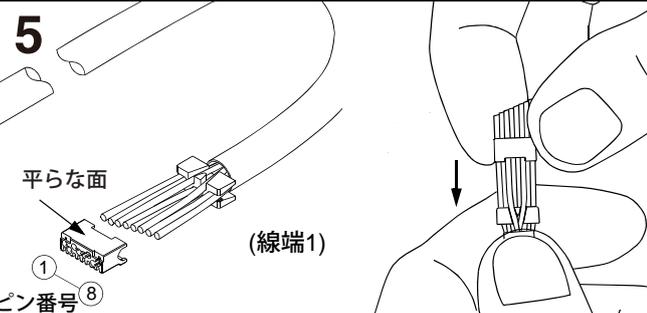


ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568A	茶	茶白	橙	青白	青	橙白	緑	緑白

(線端1)

- ◆ ディバイダーを押さえながら各対のよりを戻して導線を真っ直ぐに伸ばします。
- ◆ 1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーから25mmほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)

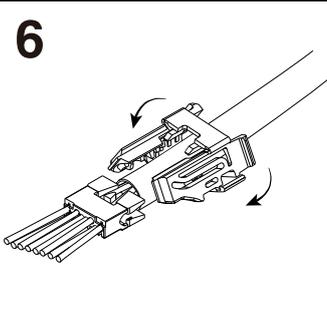
### 5



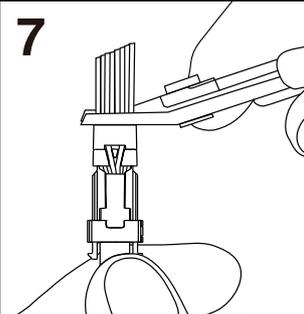
(線端1)

- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっていることを確認してロードバーを挿入します。

### 6

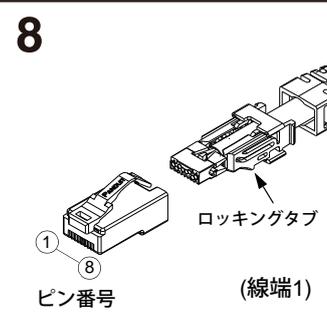


### 7



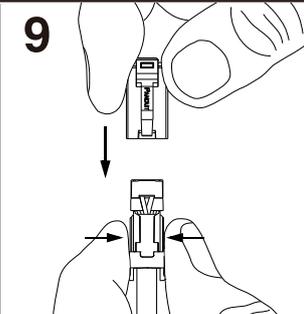
- ◆ ディバイダーとのすき間が出来ないようにしっかりと挿入します。
- ◆ 1番と8番の導線を少し外側に曲げます。
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーとロードバーを押さえながらカラーの平らな面を表にしてディバイダーまで引き寄せてから、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。

### 8



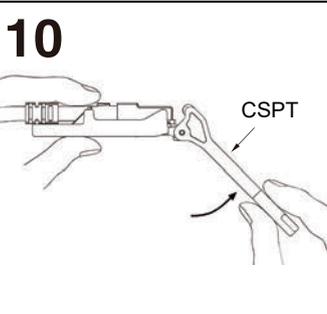
(線端1)

### 9

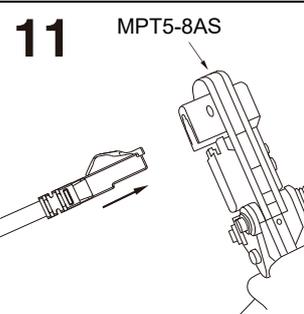


- ◆ 図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。
- ☆挿入を補助するCSPT工具が有ります。この工具を使用する時にはブーツは装着しないで下さい。

### 10



### 11



- ◆ CSPT を使用して、ラッチするまでカラーを押し込みます。
- ◆ 圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。
- ◆ ブーツを装着して成端完了です。